

《グラフィア》

5年星組 造形「くつとくる絵」
5年星組 造形「くねくねゆるゆるぶらぶら」

《序文》

探究によつて
失敗から生まれるもの
森本恵子 (1)

主題

自律的に学ぶ子どもを育てる学習法
——子どもの学びと生活の拡充——

生活の拡充を図る
日和佐 尚 (4)

「さらなる独自学習」
堀本 三和子 (10)

自己発展につながる
学習から生活への拡がり
面田 淳 (16)

自律的な学習は子どもたちの生活に生きているか
——子どもたちのふりかえり作文を通して——

《特別寄稿》

小学校建築と教育方法の一体的改革提案
——木下竹次の「環境整理」論に着目して——
奈須亮子 (22)

子ども記
正しいことばづかいつて
むずかしいな
中村征司 (28)

実践

「家族になろう」黒滝合宿② 五年(なかよし)こと
——高学年(なかよし)を深め、しよの学習力を高める——
杉澤 学 (30)

お話を楽しもう
——たぬきの糸車(一年)——
大野智子 (36)

くらしの中の「つくる」「つかう」
紙をつくらう——(五年・しごと)——
清水 聖 (42)

子ども理解によつて捉えられる成長
——年中組 わたしのしよ(なかよし)を通過して——
城本知容 (48)

教師の日記 春の息吹
太田原 みどり (51)

歴史に学ぶ 川口英明先生(体育)
から学んだこと
阪本 英 (56)

合科学習誕生の背景
木村光男 (58)

《実践寄稿》

身近な教材をいかした授業づくり
——六年「大地のつくりと変化」——
中野直人 (62)

会員のひろば (68) あとがき (70)

表紙絵：服部真也、カット絵：嶋守哲夫・大野木位行



《グラビア》
学習研究発表会

《序文》
寝る子は育つ 森本恵子 (1)

《主題》

自律的に学ぶ子どもを育てる学習法
— 学び合いによって深まる思考力② —

思考力を高める学び合いの要件 堀本三和子 (4)
学び合いで育つ論理的思考力 杉澤学 (10)
問題解決学習における思考の深化 木村光男 (16)
— 学習者間の関係性に着目して —

《特別寄稿》

学校における授業研究 (校内研究)の意義とその在り方 矢野英明 (22)

子どもも 温かい関係性から生まれる子どもの成長 城本知容 (28)

《実践》

ボールゲームで育まれる力 阪本英 (30)
— 「なかよし」を中心に据えたボールゲーム —
生活と学習をつなげる独自学習 河田慎太郎 (36)
— 自由研究における独自学習の展開 —
喜怒哀楽と表現の関連性 服部真也 (42)
— 木片を使った造形遊び実践から —
子どもが自らの力を伸ばすなかよし音楽会の練習 中村征司 (48)
— 本番に向けた自律的な練習を通して伸びる力 —

教師の日記 子どもが教く学習のレール 畔柳英徳 (54)
教師が教く学習のレール

歴史に学ぶ 重松鷹泰先生に学ぶ 梶田萬理子 (56)

創立百周年記念誌 日和佐尚 (58)
編集に関わって

河野伊三郎先生に学ぶ 大野智子 (60)

《実践寄稿》

作品の世界を深く味わおう 辰巳喜之 (62)
— 6年やまなし(光村図書六年)の授業実践から —

会員のひろば (68) あとがき (71)

表紙絵：服部真也、カット絵：嶋守哲夫・大野木位行



《グラフィア》

平成24年度なかよし音楽会・歩走練習納会

《序 文》

性差 という こと 森本恵子 (1)

主題

自律的に学ぶ子どもを育てる学習法
— 学び合いによって深まる思考力① —

考えを深める学習態度 梶田 萬理子 (4)

三年生に育つ科学的な思考力 谷岡 義高 (10)

学び合いによって深まる力 清水 聖 (16)

《特別寄稿》

子ども自らが学びを学ぶための学習論 金 玟辰 (22)

子ども日記 「なかよし」を育む 面田 淳 (28)

実践

川とくらしのつながりを 堀本 三和子 (30)

運動会表現運動で育む力 阪本 英 (36)

くらべて読もう 大野 智子 (42)

自分の「願い」を実現させるしごと学習 木村 光男 (48)

教師の日記 「ふだんのなかよし」を 服部 真也 (54)

歴史に学ぶ 清水甚吾先生(算数) 日和佐 尚 (56)

土谷正規先生の「新しい
体育学習の育て方に」学ぶ
木下竹次の「合科学習の
本質」について学ぶ
畔 柳 英 徳 (60)

《実践寄稿》

交流することを通して、思いや考えを広げ合おう！
地域の特色を生かした国語の授業
高針の町／＼／＼昔／＼／＼から／＼(五年生) 矢野 哲史 (68)

会員のひろば あとがき (71)
表紙絵：服部真也、カット絵：嶋守哲夫・大野木位行



《グラフィア》

「じい」の風景・「なかよし」の風景

《序文》

足の匂いの活用法 森本恵子 (1)

主題

自律的に学ぶ子どもを育てる学習法
— 相互学習における学び合い —

自主独立の精神を以て

杉澤 学 (4)

相互学習を為す指導

「じい」と学習の取り組みから考える

阪本 英 (10)

相互学習で育む「学び合い」

けいこ(算数)における

畔柳英徳 (16)

相互学習とは

《特別寄稿》

総合的な学習の時間における

自律的・創造的な学び

藤本勇二 (22)

子ども記 友だちとのつながりの中で

大野智子 (28)

実践

三年「ものと重さ」単元

— 子どもの学びの実際 —

谷岡義高 (30)

物語「やまなし」(六年)を読む

— 自律的に読み深めていく国語学習 —

面田 淳 (36)

1 星器械運動ランドを楽しもう(けいこ体育)

— 自ら運動を楽しみ、動きを広げる子どもを育てるか —

西下 旬也 (42)

生活と学習をつなげる算数学習

— 電車で旅しよう (独自学習の実際) —

河田 慎太郎 (48)

教師の日記 1年生の成長と給食

木村光男 (54)

歴史に学ぶ 今井鑑三先生に学ぶ

梶田 萬理子 (56)

『正しいしつけ』に学ぶ
子どもの育て方

堀本 三和子 (58)

《ついで》

「じい」と学習について考える
— 「じい」と学習とは何かから —

清水 聖 (60)

《実践寄稿》

小学校ダンス学習で

育てているもの

青木 恵子 (62)

会員のひろば (68)

あとがき (71)

表紙絵：服部真也、カット絵：嶋守哲夫・大野木位行



《グラフィア》

1年星組わたしのアサガオ

《序 文》

脱バリアフリーと脱省エネ 森本恵子 (1)

主題

自律的に学ぶ子どもを育てる学習法
— 学び合いを創りだす独自学習 —

独自学習の始まるとき 谷岡義高 (4)

— 能動的な学習から自律的な学習へ —

読みを広げ深める独自学習 大野智子 (10)

興味関心を育てる独自学習 河田慎太郎 (16)

— 生活とつなげる算数学習の取り組み —

《特別寄稿》

算数的活動をコアにした 自律的な学び 黒崎東洋郎 (22)

子ども記 自分の生活から 水について考える 服部真也 (28)

実践

「家族になろう」黒滝合宿①五年(なかよし)こと 杉澤学 (30)

— 異学年児童、なごしを深め、しるの学習をすすめる —

2月陣取りゲーム(けいこ体育) 西下旬也 (36)

— 遊びの中から学習をつくる —

ぼくらは2年星組郵便局 畔柳英徳 (42)

— 2年しごと学習はたらく人についてしらべよう —

低学年の食の学習 太田原みどり (48)

— きゅう食のひみつをさぐる(2年) —

教師の日記 支えられ、育てられ、 堀本三和子 (54)

— 今がある —

歴史に学ぶ 先輩教師から学んだこと 日和佐尚 (56)

秋田喜三郎の「問題法による 西田淳 (58)

読み方」論に学ぶ

ついで⑭ 「しごと」学習について考える 清水聖 (60)

— 「しごと」学習とは何か④ —

《実践寄稿》

自ら学び共に学ぶ学習活動をめざして 山下紗代 (62)

— 読み物教材を通して、豊かに表現し、伝え合う力を行む —

— 第4学年「えんきわ」新美術吉作の実践を通して —

会員のひろば (68) あとがき (71)

表紙絵：服部真也、カット絵：嶋守哲夫・大野木位行



《グラフィア》

6年組 電子機器を使った学習
5年組 音楽の合奏練習

《序 文》

「学び合う」ということ 森本 恵子 (1)

主題

自律的に学ぶ子どもを育てる学習法
— 学び合う子どもが育つ学級 —

学び合いの基盤が育つ学級 日和佐 尚 (4)

子どもとともに「伸びて行く」ことをめざし、「学び合い」を育んでいく学級 阪本 一英 (10)

学び合う子どもが育つ学級 西下 旬也 (16)

— なかよしを基盤とした低学年の学び合いを考察 —

《特別寄稿》

しみじみとする授業 溜池 善裕 (22)

— 重松隆泰による「奈良の学習法」の継承と発展 —

子ども記 言葉と 思い 太田原 みどり (28)

実践

「奈良さんば」という日常の学び 谷岡 義高 (30)

東日本大震災の被害と復興を考える(六年) 堀本 三和子 (36)

子どもとともに創る国語学習 西田 淳 (42)

— 学習を深める教師の出方を考える — 畔柳 英徳 (48)

— 物語「カレライリス」(六年) — 2年 けいこ算数 たし算とひき算のひっ算

教師の日記 正直であるということ 河田 慎太郎 (54)

歴史に学ぶ 山路 兵市に学ぶ 梶田 萬理子 (56)

子どもの科学心の啓培を根本とする神戸伊三郎の「新学習過程論」

杉澤 学 (58)

「つうと」学習について考える 清水 聖 (60)

《実践寄稿》
学びの宝庫「田んぼ学習」 坂上 典之 (62)

会員のひろば (68) あとがき (71)

表紙絵：服部真也、カット絵：嶋守哲夫・大野木位行



《グラフィア》

なかよし音楽会・書作展

《木下の言葉》

判断作用の発展 (1)

❖ 平成の学習法 「奈良の学習法」の根底にあるもの 谷岡義高 (4)

主題

自律的に学ぶ子どもを育てる学習法

——「学びの履歴の表現」論——

「学びの履歴を書く」ことの意味と方法 谷岡義高 (6)

学びをふりかえり生活発展につなげる学習のまとめ 堀本三和子 (12)

「学習のふりかえり」から生まれるもの 西田淳 (18)

《特別寄稿》

学校教育における「学びの自己組織化」 本山方子 (24)

——奈良女子大学附属幼稚園・小学校の交流活動から——

実践

二星のみんなで夏を楽しもう③(二年・しごと) 杉澤学 (30)

——対話から試行を繰り返して願いを実現する学習——

私たちの学校の表現運動 阪本英 (36)

くらべて考える 大野智子 (42)

——どうぶつの赤ちゃん(一年)——

私たちのくらしを見つめよう 清水聖 (48)

——私たちのくらしと食(四年・しごと)——

教師の日記 日記を綴る 西下旬也 (54)

❖ ついよ 12 「しごと」学習について考える 清水聖 (56)

——「しごと」学習の事例を——

❖ けいこ 6 現在の「けいこ(算数)」学習法の特長と課題 日和佐尚 (58)

❖ なかよし 12 自律的な生活を作る 畔柳英徳 (60)

——「リーダー会」——

《実践寄稿》

自分と仲間の考えを関係づけ、数学的な思考を育み拡げる授業 岩瀬竜弥 (62)

——六年生 図形の拡大と縮小の実践——

学校だより 68 会員のひろば 69 あとがき 71

表紙：大野木位行・カット絵：嶋守哲夫



《グラフィア》
 体験的な学びを支える校外学習⑥⑦
 《木下の言葉》

感情の発展に努める (1)

◆平成の学習法 学習法と読書法 梶田 萬理子 (4)

主題 自律的に学ぶ子どもを育てる学習法
 —「自由研究の表現」論—

自律的学習法による自由研究 日和佐 尚 (6)

自発活動の能力を伸ばす 自由研究の指導 杉澤 学 (12)

生活の気づき・友だちとの関わりが追究を深めていく
 自由研究「生活即学習、学習即生活」を目指して 西下 旬也 (18)

《特別寄稿》
 「存在論的なつながり」と
 「認識論的なつながり」 森脇 健夫 (24)

実践

本場に原子力発電は必要なのか 阪本 一英 (30)
 —これからの日本のエネルギーを考える—

「各己の自発創造」が大いに発揮される体験を 大野木 位行 (36)
 —視光地をデヒールするキャラクター創作— (3年生から)

子どもが作り上げた「けいこ算数」のかたち② 畔 柳 英 徳 (42)
 —6年「けいこ算数」場合を順序よく整理して—

独自学習から学習を始める取り組み 河田 慎太郎 (48)
 —かさ(1・2年)—

教師の日記 朝の会で伸びる力 大野 智子 (54)

◆「しごと」 清水 聖 (56)
 「しごと」学習について考える
 —同じ「しごと」学習は例が—

◆「けいこ」 日和佐 尚 (58)
 その後の「教育構造の改善」
 と「各種能力指導系統表」

◆「なかよし」 谷岡 義高 (60)
 なかよし行事

《実践寄稿》
 教科書の『活用』を考える 岩 永 恒 和 (62)
 —3年算数教科「何倍でしょう」の実践から—

学校だより 68) 会員のひろば 69) あとがき 72)
 表紙：大野木位行・カット絵：嶋守哲夫



《グラフィア》

P T C C 全体行事から

《木下の言葉》

教師は共学者であり

また指導者である

◆ 平成の学習法

「しごと」の価値を問い直す

杉澤

学

(4)

【主題】

自律的に学ぶ子どもを育てる学習法

—「日記の表現」論—

学習と生活をつなぐ日記

梶田 萬理子

(6)

日記指導の要点と日記の効果

日和佐

尚

(12)

一年生の日記の育ち

谷岡 義高

(18)

《特別寄稿》

「奈良の学習法」を培う

教育実践研究

木全力夫

(24)

【実践】

東日本大震災の被害と復興を考える(六年)

—人々の生き方に学ぶ「しごと」学習(一)—

堀本 三和子

(30)

子どもが作り上げた「けいこ算数」のかたち①

—6年けいこ算数場合を順序よく整理して—

畔 柳 英徳

(36)

みんなで創る五年星組の合唱

—詩を詠味わち学習年かして未知なる名物(東)—

西 田 淳

(42)

子どもがつくるグループなかよしの活動

—保健グループ 日の健康を考える—

仲 敦 子

(48)

◆ 先生の日記

先生として、卒業生として

中村 征 司

(54)

◆ 「しごと」の問題点

(昭和32年度)

小 幡 肇

(56)

◆ けいこ④

実態調査をもとにした
各種能力指導系統表

日和佐 尚

(58)

◆ なかよし⑩

なかよし給食
幼小給食交流

太田原 みどり

(60)

《実践寄稿》

粘り強く追究する子どもの育成を目指して

—六年・総合 これからの平和の実践—

薄 田 太

(62)

学校だより 68

会員のひろば 69

あとがき 71

表紙：大野木位行・カット絵：嶋守哲夫



《グラフィア》
体験的な学びを支える

校外学習④⑤

《木下の言葉》

児童生徒を信用せよ、
無用の拘束を去れ

(1)

❖ 平成の学習法 今一步の裁縫学習 堀本 三和子 (4)

主題

自律的に学ぶ子どもを育てる学習法

——「活動の多い学習のノート」論——

理科学習における書く指導の階層 谷岡 義高 (6)

——毛帳・独自学習ノート・相互学習ノート・レポートの関連——

体育学習での「書く活動」 阪本 一英 (12)

けいこ(造形)における「ノート」論 大野木 位行 (18)

《特別寄稿》

谷岡実践から得られる生活科への示唆 土井 妙子 (24)

——平成二十二年年度一年月組での参与観察から——

実践

二星のみんなで夏を楽しもう②(二年・しごと) 杉澤 学 (30)

——対話から試行を繰り返して願いを実現する学習——

不思議から気づきを広げる 大野 智子 (36)

——「くちばし(一年)——

わらべうた学習における 廣津 友香 (42)

子どもの遊びの変容

歌い方を考え合う中で音楽の理解を深める 中村 征司 (48)

——「パフ」を歌おう(二年)——

教師の日記 遊ぶこと即学ぶこと 清水 聖 (54)

❖ しごと⑨ 小幡 肇 (56)

「しごと」形成後の実践

真に目指していた実践③(昭和24年度)

❖ けいこ③ 日和佐 尚 (58)

「けいこ」のあり方

❖ なかよし⑨ 西田 淳 (60)

自律的な学びを支える

「学級なかよし」

《実践寄稿》

授業づくりの基礎と 藤原 一秀 (62)

仲間と支え合う研究活動

学校だより ⑥8 会員のひろば ⑥9 あとがき ⑦1

表紙：大野木位行・カット絵：嶋守哲夫



《グラフィア》

体験的な学びを支える校外学習③
体験的な学びを支える活動

《木下の言葉》

他律的教育思想を一掃せよ

根本から直せ

❖平成の学習法

体操的生活を重視した
本校の教育

阪本 英 (4)

主題

自律的に学ぶ子どもを育てる学習法

——「相互学習のノート」論——

書くことのよさとその指導

日和佐 尚 (6)

相互学習を記録する学習ノートづくり

「しごと」学習のノートを考える

堀本 三和子 (12)

新たな独自学習を生む相互学習

大野 智子 (18)

《特別寄稿》

モンゴル国と日本の理科教育

鎌田 正裕 (24)

実践

二星のみんなで夏を楽しもう(二年・しごと)

——対話から試行を繰り返して願いを実現する学習——

杉澤 学 (30)

子どもと進める「川の学習」

——四年生、一年間の「しごと」学習——

阪本 一英 (36)

学校探検をしよう(しごと)

——身近な生活の中から自分の世界を広げる学習——

西下 旬也 (42)

低学年の食の学習(事例①)

——「体のひみつをさぐるう」(二年)——

太田原 みどり (48)

教師の日記 子どもの思い

廣津 友香 (54)

❖しごと⑧

「しごと」形成後の実践
真に目指していた実践②(昭和24年度)

小幡 肇 (56)

❖けいこ②

「けいこ」とは

日和佐 尚 (58)

❖なかよし⑧

「なかよし」の「風土」

大野木 位行 (60)

《実践寄稿》

自分の考えをもち、伝え合うことのすばらしさ

——四年生「白いぼうし」の実践——

遠藤 真理子 (62)

学校だより

会員のひろば

あとがき

(70)

表紙：大野木位行・カット絵：嶋守哲夫



《グラフィア》
体験的な学びを支える校外学習

《木下の言葉》
〈独自〉学習指導の形式3発問
(1~9の内の3) (1)

◆平成の学習法 学習法と異学年交流 日和佐 尚 (4)

主題

自律的に学ぶ子どもを育てる学習法
——「独自学習のノート」論——

独自学習のノート制作によって育つもの 梶田 萬理子 (6)
学習ノートに学習作文を書く 小幡 肇 (12)
活動(「作業」)の発展を図る 畔柳 英徳 (18)
けいこ(算数)の独自学習とノートの活用 (18)

《特別寄稿》

子どもにとつての運動の習得
——身体運動学の視点から—— 藤原素子 (24)

実践

家の近くの地層調べレポートを書く
——六年理科「奈良の大地のしくみと変化」の学習—— 谷岡 義高 (30)
子どもの発想力・思考力が活発化する題材を
——場面が変わる「枚紙芝居」(三年生)の実践から—— 大野木 位行 (36)
朝の会(なかよし)
——生活の気づきをどのようにして表現につなげるのか—— 西下 旬也 (42)
自律的な読みを深める教師の出方その二
——物語「大造じいさんとカン」(五年)—— 西田 淳 (48)

教師の日記 子どもから学ぶ 河田 慎太郎 (54)

◆しごと⑦ [しごと]形成後の実践
真に目指していた実践①(昭和23年度) 小幡 肇 (56)

◆けいこ① 「けいこ」が生まれる 日和佐 尚 (58)

◆なかよし⑦ グループなかよし 谷岡 義高 (60)

《実践寄稿》

地域とのかかわりを通して 江口 純吉 (62)
——二年『お世話になっている人』の実践——

学校だより (68) 会員のひろば (69) あとがき (70)
表紙：大野木位行・カット絵：嶋守哲夫



《クラブピア》
子どもが進める創立百周年記念式典・
わが校の今昔

《木下の言葉》

学習の意義は澤山ある (1)

◆平成の学習法 文部科学省指定の研究開発学校 三年次の我が校の課題 谷岡義高 (4)

主題 自律的に学ぶ子どもを育てる学習法
——「ふりかえり」論——

第二次独自学習と「ふりかえり」 梶田 萬理子 (6)

「奈良の学習法」における「ふりかえり」の意味と課題 杉澤 学 (12)

主体的に学習生活を過す中で高まるふりかえり 西下 旬也 (18)

《特別寄稿》

「考える」授業を展開する 野田 敦敬 (24)

実践

食文化の豊かさを体感する食の学習 堀本 三和子 (30)

子どもの学びを育む運動ランドの取り組み 阪本 一英 (36)

筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝える 大野 智子 (42)

子どものやる気を引き出す保健指導 仲 敦子 (48)

教師の日記 東日本大震災から 何を学ぶか 畔 柳英徳 (54)

◆「けいと」 自分をみつめ直す 小 幡 肇 (56)

◆「国語」 「さらなる独自学習」 西 田 淳 (58)

◆「なかよし」 なかよし広場 谷岡 義高 (60)

《実践寄稿》 「互いの思いをじっくりと聴き、
学び合い深め合う子」をめざして 北 元 智明 (62)

学校だより 会員のひろば あとがき (68) (69) (71)

表紙：大野木位行・カッタ絵：嶋守哲夫



《グラフィア》
学習研究発表会・
わが校の今昔

《木下の言葉》

相互学習の必要 (1)

❖ 平成の学習法 自分たちで文化を創造する「なかよし」 堀本 三和子 (4)

【主題】

自律的に学ぶ子どもを育てる学習法

——「相互学習」論——

「自律的学習法」創設期に 小幡 肇 (6)

おける「相互学習」の様子 阪本 英 (18)

独自学習・相互学習に初めて取り組む子どもたち 谷岡 義高 (12)

——一年生の一年間を振り返って——

「じぶん」学習における「相互学習」 宇佐見 香代 (24)

《特別寄稿》

これからの奈良の
学習学の創造に向けて

【実践】

自分たちで進める「算数研究(街角の算数)」 日和佐 尚 (30)

——似ているけど同じじゃない？(2つの角形五年)——

子どもの創造性が発揮される場面から考える 大野木 位行 (36)

——造形グループ「玉転がし装置」製作から——

自分たちの生活を作る 畔柳 英徳 (42)

なかよし委員会

自律的な国語学習を深める教師の出方 西田 淳 (48)

——物語「こんぎつね」(四年)——

❖ 教師の日記 ブー太が教えてくれたこと 杉澤 学 (54)

❖ しいと⑤ 「しいと」創設(重松鷹泰論文より) 小幡 肇 (56)

——学習研究26号「暗算学習」——

❖ けいこ(国語)⑤ 読みが深まる相互学習(聞き合い) 大野 智子 (58)

❖ なかよし⑤ 臨海合宿 西下 旬也 (60)

《実践寄稿》

楽しく読み、言葉から考える国語の学習を目指して 金田 幸子 (62)

——一年「ためきの糸車」(きしなみ作)——

学校だより 68 会員のひろば 69 あとがき 72

表紙：大野木位行・カット絵：嶋守哲夫



《グラフィア》
自分の考えを伝える・
わが校の今昔

《木下の言葉》

学習の目的 (1)

◆平成の学習法 全身全霊を打ち込む 「じごと」の時間 杉澤 学 (4)

主題

自律的に学ぶ子どもを育てる学習法
——「おたずね」論——

「おたずね」で育つ子どもの学び 日和佐 尚 (6)

「おたずね」が創り出し、
「おたずね」で深める学習 堀本 三和子 (12)

「おたずね」が自律的学習をささえる 西田 淳 (18)

《特別寄稿》

学習に向かう生活と「おたずね」 江間 史明 (24)

実践

「友だちの話(朝の会)における「話」聴く」の調査と課題 平成22年度 三年月組 小幡 肇 (30)

独自学習の原点にあるツール
——メモ帳を持つ子どもたち—— 谷岡 義高 (36)

根拠のある説明で深める算数の学習
——5年分—— 畔 柳 英徳 (42)

6 ☆運動ランド(器械運動領域)
——子どもが主体に進めるシンクロマット&跳び箱
—— 西下 旬也 (48)

教師の日記 自律的に活動する子ども 仲 敦子 (54)

◆「じごと」創設期の
具体的な学習の様子② 小幡 肇 (56)

◆「けいご」
(国語)④ 独自学習から相互学習へ 梶田 萬理子 (58)

◆ななかよし④ 学年 なかよし 阪本 一英 (60)

《実践寄稿》

「わかり直す」問題解決の学習の必要性
——第6学年 植物の働き 水溶液の性質の実践を通して—— 川真田 早苗 (62)

学校だより (68) 会員のひろば (69) あとがき (71)

表紙：大野木位行・カット絵：嶋守哲夫



《グラビア》
しごと・美浜合宿(5年生)、
わが校の今昔
《木下の言葉》

独自学習の必要 (1)

❖ 平成の学習法 自らの能力を練磨する 日和佐 尚 (4)

主題

自律的に学ぶ子どもを育てる学習法
——「独自学習」論——

「自律的学習法」創設期における 小幡 肇 (6)

「独自学習」と今日に継承したもの 谷岡 義高 (12)

すべての学びは生活の中にある 大野 智子 (18)

——発見や体験を鮮明にする教師のはたらき——

自問自答しながら読み深める 奈須 正裕 (24)

《特別寄稿》

自分に引きつけて学ぶ

実践

電気の研究 IV

——発電した電気を利用しよう(六年・けい)理科——

杉澤 学 (30)

子どもの学びを育む運動ランドの取り組み

——二年生・三年生の運動ランドの実践より——

阪本 英 (36)

子どもの想像が広がる小宇宙

——けい(造形)二年生「ムムムランド」の実践から——

大野木 位行 (42)

給食を残さずおいしく食べよう

——秋さたてこはん 作戦：さし委員会の取り組み——

太田原 みどり (48)

教師の日記 自律的に学ぶ単独者 西田 淳 (54)

❖ しごと③ 「しごと」創設期の具体的な学習の様子① 小幡 肇 (56)

❖ けいこ③ 独自学習ができる 子どもを育てるために 梶田 萬理子 (58)

❖ なかよし③ 高学年なかよし集会 西下 旬也 (60)

《実践寄稿》

「子どもがつくる算数科学習」をめざして 村岡 智行 (62)

——コミュニケーションを通して学びの品力と豊かな学びを——

学校だより 会員のひろば あとがき (68) (69) (70)

表紙：大野木位行・カット絵：嶋守哲夫



《グラビア》
プール水泳納めの会・
わが校の今昔

《木下の言葉》

学習の意義 (1)

◆平成の学習法 自律的な学びを育む学習の基盤 阪本一英 (4)

主題

自律的に学ぶ子どもを育てる学習法

——「めあて」論——

子どもが「学習のめあて」を 梶田 萬理子 (6)

もつことの重要性

自律的な学習における 「めあて」の意味と課題 杉澤 学 (12)

けいこ算数の学習の「めあて」 畔柳 英徳 (18)

——自律的学習を始めるための「めあて」——

《特別寄稿》

解(ほど)かれ、解(ほく)す教育実践の地平を！

——教師に求められる技としての「三つのター」に寄せて——

岡本定男 (24)

実践

独自の学びが合わさる劇の創造へ

——劇「一年月組ならさんぽにいこう」——

谷岡 義高 (30)

「くらしを支えるもの」をつくる・

使う」食糧・食料(五年)

堀本 三和子 (36)

テーマを持ち、友だちの考えに関わりながら読む

——森へ(六年)——

大野 智子 (42)

子どもがつくる体育研究の学習Ⅲ

——運動が「できる」と共に体が「わかる」体育を目指して——

西下 旬也 (48)

教師の日記

言うことを聞かない
子どもを育てる

大野木 位行 (54)

◆「ついで」

各学年の「関心のあり方」を手がかりに
「ついで」の主題設定を行う

小幡 肇 (56)

◆「けいこ」

自らの学習計画を立てて
独自学習に臨む

西田 淳 (58)

◆「なかよし」

低学年なかよし集会

阪本 一英 (60)

《実践寄稿》

ヤギと子どもとともに過ごした四〇〇日

——「一年生活科「だいすき、ラッキー」の実践から——

滝沢 真紀子 (62)

学校だより (68)

会員のひろば (69)

あとがき (71)

表紙：大野木位行・カット絵：嶋守哲夫



《グラフィア》

わが校の今昔・学習研究集会

《木下の言葉》

「学習研究」創刊の辭より (1)

◆平成の学習法 現在に生きる学習法 梶田 萬理子 (4)

主題 自律的に学ぶ子どもを育てる学習法
——「朝の会」論——

「朝の会」で育つ子どもの学び 日和佐 尚 (6)

生活と学習をつなぐ 堀本 三和子 (12)

「朝の会」で育つ「なかよし」 大野木 位行 (18)

「朝の会」がつくる子どもの
学校・学級生活を考える

《特別寄稿》

主体として学びあう 守屋 淳 (24)

子どもたちを育てる朝の会

実践

「解す(ほぐす)」ことの必要性 小幡 肇 (30)

子どもの関心に寄り添い進める「しごと」学習 阪本 英 (36)

車からエネルギー環境について 杉澤 学 (42)

考える③(四年・しごと)

子どもたちの自律的な学習を支える展開と教師の支援 西田 淳 (48)

—物語「白いぼうし」(四年)—

教師の日記 春の遠足 太田原 みどり (51)

◆「しごと」① 「しごと」について 小幡 肇 (56)

確認しておきたいこと

◆「けいこ」(国語)① 教師の読みをつくる 大野 智子 (58)

◆なかよし① 学級なかよし 谷岡 義高 (60)

《実践寄稿》

児童が主体となる学習「声部の学習法」確立への取り組み 宮下 牧三 (62)

—「奈良の学習法」を公立小学校の教育に—

学校だより (68) 会員のひろば (69) あとがき (69)

表紙：大野木位行・カット絵：嶋守哲夫



《グラビア》

2年月組「じごと」の最終の活動く

「リアル仕事館を開こう」

《序文》

K I S S 原則 鈴木孝仁 (1)

主題

「学習法」で育つ論理的思考力

— 思考の変容や深まりをとらえる(2) —

数理的・生活領域における

「思考の変容や深まりをとらえる」

日和佐 尚 (4)

思考から表現への

豊かな環境づくり

堀本 三和子 (10)

子どもの内なる論理を揺さぶり

新たな学習観・創造性を育む

大野木 位行 (16)

❖ 私の
ひとりごと

ところ変われば・・・ 太田原 みどり (22)

実践

低学年から中学年の

体育学習の構想

阪本 一英 (24)

音楽を身体で感じよう

— 感受・模倣・工夫から「思考」への変容や深まり —

山上 眞佐枝 (30)

自ら読み深める力を高める②

— 大造じいさんとガン(五年) —

大野 智子 (36)

しごと学習「平城遷都二三〇〇年祭」
(第四学年)の取組

坂井 誠亮 (42)

❖ 教室から かがやき

西田 淳 (48)

❖ 学習法

子どもが進める理科学習の
始め方・終わり方
子どもたちが自主的に
進める学習(体育)

谷岡 義高 (50)

《特別寄稿》

子どもの姿に目を凝らす

「授業分析」から得られるもの

久野 弘幸 (56)

《実践寄稿》

人とのつながりを大切に

生活科の学習をめざして

本多 千鶴代 (62)

会員のひろば (68) あとがき (72) 表紙：復刻シリーズ・カット絵：嶋守哲夫



《グラビア》
学習研究発表会

《序 文》
メンターとレズイリエンシー 鈴木孝仁 (1)

主題 「学習法」で育つ論理的思考力
——「めあて・おたすね・ふりかえり」で育つ論理的思考力(2)——

自律した学習力を深める子どもの育成 谷岡義高 (4)
——学習を芸術の域に高める子どもの姿——
「学習法」で育つ論理的思考力 阪本一英 (10)
国語学習における論理的思考力の育成 西田淳 (16)
——独自学習と相互学習での「めあて」と「ふりかえり」を通して——

❖ 私のひとりと 継続は力なり 大野智子 (22)

実践

ハムスターとのかかわりから学ぶ子ども 小幡肇 (24)
——平成21年度 二・三年月組——
ダンゴムシをみつけよう(一年) 堀本三和子 (30)
見通しを持って学習を進める子ども 畔柳英徳 (36)
——4年 分 数——
新型インフルエンザの対応 仲敦子 (42)
——学 校 保 健——

❖ 教室から 四年星組は遊び文化を発信源 坂井誠亮 (48)

❖ 学習法 丁寧言葉話す、正しい 杉澤学 (50)
QあんどA 日本語を使う子どもの育成 描ける子どもが育つ 大野木位行 (53)
支援・指導(造形)

《特別寄稿》
論理的であることを育むための要件とは 矢野博之 (56)
——キャリアの浅い教師にとっての困難を手がかりとして——

《実践寄稿》
「対話で学び合う授業」の創造 慶田盛元 (62)
——社会科単元「沖繩から見つめる戦争」を例として——

会員のひろば (68) あとがき (71) 表紙：復刻シリーズ・カット絵：嶋守哲夫



《グラビア》

2年「じごと」わたしのじごとかん

《序文》

ジヨハリ窓 鈴木孝仁 (1)

主題

「学習法」で育つ論理的思考力
—子どもの言語からみる論理的思考力(2)—

六年間の「じごと」学習に
おける論理的思考の育ち

小幡 肇 (4)

「げご音楽」の学習からみる子どもの論理的思考

廣津友香 (10)

子どもの中の論理的思考を
評価する場面の枠組みについて

坂井誠亮 (16)

❖私の
ひとりごと

話は短いほうがよい 西田 淳 (22)

実践

車からエネルギー環境について

杉澤 学 (24)

考える②(四年・くらし)

自分を楽しむことで広がる造形

大野木 位行 (30)

—六年月組「なりきりワンダーランド」制作記—

自ら読み深める力を高める

大野 智子 (36)

—千年の釘にいどむ(五年)—

子どもがつくる体育研究の学習II

西下 旬也 (42)

—運動が「できる」と共に体が「わかる」体育を目指して—

❖教室から 次のめあては何？

畔柳 英徳 (48)

❖学習法
QあんどA

内省の目を育てる

「ふりかえり」の書き方

梶田 萬理子 (50)

自律的な学びを支える教師の働き

阪本 一英 (53)

《特別寄稿》

「奈良の学習法」に培う算数的活動

岡部 恭幸 (56)

《実践寄稿》

「聴き合う姿勢を育成し、話し合いの深まりを求める授業

萩須 文裕 (62)

—全員参加の授業を求めて—

会員のひろば (68) あとがき (71) 表紙：復刻シリーズ・カット絵：嶋守哲夫



《グラフィア》

四年月組 しごとと学習

—奈良の水について調べよう！—

《序 文》

リベラルアーツと深みの醸成 鈴木孝仁 (1)

主題

「学習法」で育つ論理的思考力

—思考の変容や深まりをとらえる(1)—

思考の深まりを促す「関係づける力」 梶田 萬理子 (4)

「感受・模倣・工夫」から 山上 眞佐枝 (10)

「思考」の変容や深まりを考える 大野 智子 (16)

思考の変容や深まりを生む学習の場 小幡 肇 (24)

私の
ひとりごと 聴くことから・・・ 仲 敦子 (22)

実践

「学習を絵や文に表現(反省)したもの」から 小幡 肇 (24)

「子どもの伸び」をさぐる観点 堀本 三和子 (30)

平成21年度2年月組「福を育てる」過程を通して 西田 淳 (36)

—物語「三年とうげ」(二年)— 太田原 みどり (42)

聞き合を通して「考え深めていく子どもたちを育てたい」 大野木 位行 (48)

—食に関する学習—「けいこ理科」と連携して 廣津 友香 (53)

野菜を育てて食べよう！大根く(三年生) 日和佐 尚 (50)

—食に関する学習—「けいこ理科」と連携して 川 端 建 治 (56)

❖ 教室から 変は 変でも 東 文 三 (62)

❖ 学習法 QあんどA 音楽の学習活動はこう変わる 廣津 友香 (53)

《特別寄稿》

今求められている「読解力」とは 川 端 建 治 (56)

—何を「読み解く」力なのか?—

《実践寄稿》

仲間とともに運動の楽しさにふれる授業づくり 東 文 三 (62)

—子どもたちの想いを生かした体育学習をめざして—

会員のひろば (68) あとがき (71) 表紙：復刻シリーズ・カット絵：嶋守哲夫



《グラフィア》

自分たちで学習を創る

(三年生 曾爾高原合宿)

《序 文》

科学リテラシーと教育 鈴木孝仁 (1)

主題

「学習法」で育つ論理的思考力

——「めあて・おたすね・ふりかえり」で育む論理的思考力(1)——

論理的思考力を育む教師のはたらき 梶田 萬理子 (4)

自律した学習力を身につけた子どもの育成 谷岡 義高 (10)

——めあて・おたすね・ふりかえり——のリスを教育の根拠に——

論理的思考力を高める算数の学習のあり方 畔柳 英徳 (16)

——学習をつなげる「ふりかえり」の充実を通して——

❖ 私のひとりごと

教師の子ども理解と言葉かけ 坂井 誠亮 (22)

実践

車からエネルギー環境について

考える①(四年・くらし) 杉澤 学 (24)

田んぼの稲を育てよう

——二年生「しごと」学習の取り組み—— 阪本 一英 (30)

音楽を身体で感じよう

——身体表現を通して音楽能力を伸ばす一年生の実践—— 山上 眞佐枝 (36)

戦術理解を中心としたボール運動の学習

——子どもの見合う・話し合う活動を大切に—— 西下 旬也 (42)

❖ 教室から 出 会 い の 喜 び 仲 敦 子 (48)

❖ 学習法 「奈良の学習法」の学習生活 小 幡 肇 (50)

QあんどA 考えを伝え合い、学びを深める 大野 智子 (53)

《特別寄稿》

活動システムに基づく子どもが自ら学ぶ授業の構築

——奈良の学習法に学ぶこと—— 中村 恵子 (56)

《実践寄稿》

実感を伴った理解を図るために大切にしていきたいこと

——第六学年理科「物の燃え方と空気の实践」で子どもから学んだこと—— 鳴川 哲也 (62)

会員のひろば (68) あとがき (70) 表紙…復刻シリーズ・カット絵…嶋守哲夫



《グラフィア》
平城遷都一三〇〇年祭の
ヒミツをさぐる

《序 文》
オートテリック・パートナーティ
とフロー体験 鈴木孝仁 (1)

主題

「学習法」で育つ論理的思考力
——子どもの言語からみる論理的思考力——

「学習法」における論理的思考の
形成についての解釈 小幡 肇 (4)

言葉に注目して子どもの
論理的思考の表出をとらえる 杉澤 学 (10)

体育学習における論理的思考
——ボール運動の学びから—— 西下 旬也 (16)

◆私の
ひまわり 最近読んだ脳科学の本から
——適時に適事を—— 山上 眞佐枝 (22)

実践

算数研究「街角の算数」を楽しもう
——マヤのピラミッド(四年・松田君の研究発表)—— 日和佐 尚 (24)

四年 骨 と 筋 肉 谷岡 義 高 (30)

しゃぼん玉遊びから生まれた「しゃぼん玉の歌」
——一年星組「しゃぼん玉遊び」の実践事例から—— 廣津 友 香 (36)

自由制作に見る子どもの発想の豊かさ
——造形学習「あそびテラックス」(二年生)から—— 大野木 位 行 (42)

◆教室から 楽しみのひとつ 太田原 みどり (48)

◆学習法 子どもに家庭生活を
見つけさせるには 堀本 三和子 (50)

QあんどA ひとりひとりの到達度に
合った算数の学習 畔 柳 英 徳 (53)

《特別寄稿》
〔共通事項〕で図画工作科の
授業が変わる 西尾 正 寛 (56)

《実践寄稿》
景観から世界遺産を考えよう 中川 克 則 (62)

——景観を守るために何ができるのだろうか——

会員のひろば (68) あとがき (70) 表紙：復刻シリーズ・カット絵：嶋守哲夫



《グラビア》

1・6年春のミニ運動会

《序 文》

デューイと反省的思考―探求 鈴木孝仁 (1)

主題

『学習法』の体得へ向けた取り組み

―「独自学習・相互学習・独自学習」と「習得・活用・探究」の関わり②―

「習得」「活用」「探究」

という課題に答える

小幡 肇 (4)

「探究」を核にひろがる学習生活

阪本 英 (10)

独自・相互の学習における知識技能の

習得・活用・探究の扱いについて

廣津友香 (16)

❖ 子ども記

生き物の生と死を見つめて

杉澤 学 (22)

実践

三年 物の重さくらべ

谷岡義高 (24)

伝統音楽を身体で感じて表現しよう

―「篠笛の曲」を作曲しよう―

山上 眞佐枝 (30)

子どもの探究心を刺激する造形活動について

―立体造形「紙を立てる」の取り組みから―

大野木 位行 (36)

5☆運動ランド(器械運動領域)

―子どもが主体に進めるシンクロマット―

西下 旬也 (42)

❖ 教師の日記

人生「幹」論

日和佐 尚 (48)

(自律的学習)

❖ 子どもを

育てる勘所

私の算数の学習課題を作る時の視点

畔 柳 英 徳 (50)

若手教員へ

(教材研究)

教師の読みをつくる

大野 智 子 (53)

《特別寄稿》

先達に学び続ける学校の再興を

―奈良女高師附小の研究に学ぶ―

佐藤 真 (56)

《実践寄稿》

聞き合いを通して、自分の考えを深める学習を目指して

―国語「大造じいさんとカン五年」の学習の実践から―

村上 和 宏 (62)

会員のひろば (68) あとがき (70) 表紙：大野木位行・カット絵：嶋守哲夫



《グラビア》
 学習研究発表会(2月)・
 お別れと出会い

《序 文》

クロード・ベルナールと論理的思考 鈴木孝仁 (1)

主題

『学習法』の体得へ向けた取り組み
 — 独自学習から相互学習へ② —

自分たちで進める算数学習

— 算数研究 山崎の算数における独自学習の相互学習 —

日和佐 尚 (4)

独自学習から相互学習へ

— 算数研究 山崎の算数における独自学習の相互学習 —

堀本 三和子 (10)

体育学習における

独自学習と相互学習

西下 旬也 (16)

❖ 子ども記 「説明文」の楽しさ 阪本 一英 (22)

実践

「学習法」・校外学習記

— 学校は協同社会となり、個性を育てる環境になる —

小幡 肇 (21)

説明文を読み深める力を高める

— アップとルーズで伝える(四年) —

大野 智子 (30)

しごと学習 4年奈良の民話を調べよう

畔柳 英徳 (36)

給食時間の指導

— 子どもの偏食「牛乳編」 —

太田原 みどり (42)

❖ 教師の日記 授業日記を書く 谷岡 義高 (48)

(自ら関わる活動)

❖ 子どもを 育てる勘所 鍵盤ハーモニカの学習 廣津 友香 (50)

若手教員へ

(特別活動)

「ブルーなかし」に見る子どもの姿

水原 睦 (53)

《特別寄稿》

思考力や表現力を育成する授業づくり 馬野 範雄 (56)

《実践寄稿》

心豊かな子どもの育成

— おたすねを大切にしながらかわり合いを通して

池田 美枝子 (62)

会員のひろば 68 あとがき 69 表紙：大野木位行・カット絵：嶋守哲夫



《グラフィア》

歩走練習納会・初めての合宿

《序 文》

知識社会の到来とフロネシス 鈴木孝仁 (1)

主題

「学習法」の体得へ向けた取り組み
——教室の学びの前には独自学習が必要②——

独自学習ができる子どもを育てる 梶田 萬理子 (4)

独自学習を創る相互学習の大切さ 谷岡 義高 (10)

音楽学習から自由研究へ 山上 眞佐枝 (16)

❖ 子ども記 心のイメージを言葉に 堀本 三和子 (22)

実践

何倍になるのかな(思考法)四年 日和佐 尚 (24)

「ぼくのうんどうわたしのうんどう」の協議会からの考察 阪本 英 (30)

共通事項を扱った音楽学習の実践事例 西條 友香 (36)

日常的「探究」から広がる子どもの造形 大野木 位行 (42)

❖ 教師の日記 森脇氏との協同的な授業研究から考えさせられる日々 (感性を育てる) 小幡 肇 (48)

❖ 子どもを育てる勘所 (校外学習) 子どもの感性を育てる 都 留 進 (50)

若手教員へ (校外学習) ひと、もの、こととの出会いを大切にす 杉 澤 学 (53)

《特別寄稿》

ミラノぶらり・・・ 「街角の算数」さがし 亀岡 正睦 (56)

《実践寄稿》

問題解決的な食のプログラム 林 美恵子 (62)
を考える食事診断

会員のひろば (68) あとがき (70) 表紙：大野木位行・カット絵：嶋守哲夫



《グラフィア》
楽しい音楽会・3年校外学習

《序文》

ロールモデルをみつける 鈴木孝仁 (1)

主題

「学習法」の体得へ向けた取り組み
——「独自学習・相互学習」と「習得・活用・探究」の関わり①——

奈良女子大附小の「自律的学習法」の
立場から見た、「習得」「活用」「探究」
小幡 肇 (4)

「習得・活用・探究」と「独自・相互・独自」
を学びの様相からとらえる
杉澤 学 (10)

子どもの生活から
「習得・活用・探究」を考える
大野木 位行 (16)

子ども記 児童に学んだ
「しごと」のおもしろさ
山上 眞佐枝 (22)

実践

奈良のすてきを見つけよう(三年)
——その一、奈良公園の「鹿」——
堀本 三和子 (24)

説明文を読み深める
「かむ」ことの方(四年)
大野 智子 (30)

3年かけ算の筆算のしかたを考えよう
畔 柳 英徳 (36)

健康診断結果の活用と
子どもの健康
水原 睦 (42)

教師の日記 高校時代の同窓会会報
(自律的学習力を育てる)
梶田 萬理子 (48)

子どもを
育てる勤所
(学心に火をつける)①のポイント
(食の学習)
廣岡 正昭 (50)

子どもから学ぶこと
太田原 みどり (53)

《特別寄稿》

心理主義化された
道徳教育からの脱却
吉田 武男 (56)

《実践寄稿》

一人一人が知識や技能を生かし、
自己実現できる授業づくりをめざして
河野 敬重 (62)

会員のひろば (68) あとがき (71) 表紙：大野木位行・カット絵：嶋守哲夫



《グラフィア》
夏に終わりを告げ、秋に臨む・
プール水泳納会

《序文》

対話について 鈴木孝仁 (1)

主題

『学習法』の体得へ向けた取り組み
—— 独自学習から相互学習へ① ——

造形学習の独自と相互 都留 進 (4)

自分たちで進める算数学習「教科書算数」
における独自学習から相互学習へ 日和佐 尚 (10)

—— その進め方と子どもの思い ——

ひとりで読み味わい、
みんなで読み深める学習 大野 智子 (16)

❖ 子ども記 夏休みの挑戦 太田原 みどり (22)

実践

一年生の想像力を高める 梶田 萬理子 (24)

「おむすびころりん」を読む
—— 人間として強い人間の育成を目指して —— 杉澤 学 (30)

一年生の学習生活を育てる 阪本 一英 (36)

伝統音楽を身体で感じて表現しよう
—— 篠笛を中心にした実践 —— 山上 眞佐枝 (42)

❖ 教師の日記 手づくりの実践で
「具体性の回復」を!! 廣岡 正昭 (48)

❖ 子どもを育てる勘所 (意識付け)
子どもによる学習活動のために 大野木 位行 (50)

—— 自律的な学びを指して —— 西下 旬也 (53)

《特別寄稿》

子どもから見た授業 「単元学習」は手段か目的か 松本 謙一 (56)

《実践寄稿》

協同的な学びと評価の工夫による学びよびを
実感できる理科学習の実践的研究 松下 準市 (62)

—— 6年「人や動物の体」の実践を通して ——
会員のひろば (68) あとがき (70) 表紙：大野木位行・カット絵：嶋守哲夫



《グラフィア》
学習研究集會

《序文》
セレンディピテイ
(serendipity) について 鈴木孝仁 (1)

主題

『学習法』の体得』へ向けた取り組み
——教室の学びの前には独自学習が必要①——

子どもの内発的な問いを 廣岡正昭 (4)
促す独自学習 谷岡義高 (10)
理科学習から見た 独自学習の深化について 畔柳英徳 (16)
けいこ(算数)の独自学習の意義と進め方
——子どもの発達に応じた独自学習の進め方——

❖子ども記 保健グループの活動 水原 睦 (22)

実践

つながりを深めよう(六年) 堀本三和子 (24)
——しごとけいこ(家庭)を関連つけた学習指導——
新しい自由研究の取り組み①(なかよし) 杉澤 学 (30)
——人間として強い人間の育成を目指して——
わらべ歌を用いた新たな学習の展開 西條友香 (36)
——音の重なりを感じてわらべ歌を歌おうの実践を通して——
子どもがつくる「体育研究」 西下旬也 (42)
——運動が「わかる」体が「わかる」を目指して——

❖教師の日記 教え子の活躍に喜ぶ 都留 進 (48)

❖子どもを 育てる勘所 (日本伝統音楽)
日本伝統音楽の素晴らしさを伝えたい 山上 眞佐枝 (50)
若手教員へ (日直を育てる) 主体的な学習生活を育てる 阪本 英 (53)
——低学年での日直の役割——

《特別寄稿》
二十一世紀のへ新わらべうた 教育が育てる力 小島律子 (56)

《実践寄稿》
つながり・学びあう学習を目指して 安原 宏一 (62)

会員のひろば (68) あとがき (70) 表紙：大野木位行・カット絵：嶋守哲夫



《グラビア》

奈良の歴史を学ぶ・広島平和学習

《序文》

初心 諸岡英雄 (1)

主題

子どもの自己創造を促す学習法
——子どもの自立を支える——

子どもの感性と追究力を 育てる教師の支援	都留進	(4)
友だちの話を聞いて自らの考えを つくる「なかよし」の学習	日和佐尚	(10)
子どもの自立を支え、 子どもを活かす生活システム	大野木位行	(16)

子ども記 「食べへん」と「喰わへん」	太田原みどり	(22)
--------------------	--------	------

実践

物語を読もう「海の命」(六年・立松和平作)	楳田萬理子	(24)
「おたずね」で検討する活動の省察から 生まれる、相互学習での話題の検討	小幡肇	(30)
四年 季節日記を読む	谷岡義高	(36)
4 ☆器械運動ランドをつくらう ——自ら進んで運動を楽しむ子ども——	西下旬也	(42)
あのととき…… 「待つ」ことで伸びる (子どもと共に歩む教師)	大野智子	(48)

子どもを 育てる勤所 (若手教員へ 掲示物)	廣岡正昭	(50)
音楽室の掲示から	西條友香	(53)

《特別寄稿》 幼・小の連携による学びの接続、交流、発展を考える ——奈良女子大学附属幼・小での研究実践を手かりとして——	布谷光俊	(56)
--	------	------

《実践寄稿》 筋道立てて考える力を高める単元構成の工夫 ——第二学年「かけ算」の実践をもとに——	長間清人	(62)
会員のひろば 68	あとかぎ 72	表紙：都留進・カッパ絵：嶋守哲夫



《グラフィア》

体験学習を通して伸びる子どもたち

《序文》

人間 諸岡英雄 (1)

主題

子どもの自己創造を促す学習法

—自分さがしをたすける—

自分さがしをたすける 廣岡正昭 (4)

指導のあり方を考える 杉澤学 (10)

自分さがしを促す体験 阪本一英 (16)

入学する、その日から始まる自分さがし

子ども記 スキー合宿の楽しみ 水原睦 (22)

実践

独創的でねばり強い追究力を育てる「自由研究」 堀本三和子 (21)

「ちいちゃんのかげおくり」(三年) 大野智子 (30)

わらべ歌を教材とした音楽学習 西條友香 (36)

かんたん調理をしよう(野菜編)(五年生) 太田原みどり (42)

—食に関する学習— けいこ(家庭)より

あのととき イメージがないものは見えない 山上真佐枝 (48)

(随流導流)

子どもを育てる勤所 話題の修正の仕方と待つ姿勢 日和佐尚 (50)

若手教員へ (生活の中の学び) 大野木位行 (53)

「下手の横好き」を支えて子どもを伸ばす

《特別寄稿》 生活科・「総合的な学習の時間」で育てる力 津川裕 (56)

《実践寄稿》 奈良の学習法から学ぶ 高林豊 (62)

《実践寄稿》

奈良の学習法から学ぶ

—第四学年国語科「こんぎつね」の実践から—

会員のひろば (68) あとがき (70) 表紙：都留進・カット絵：嶋守哲夫



《グラフィア》
なかよし音楽会・歩走練習

《序文》

三方よし 諸岡英雄 (1)

主題

子どもの自己創造を促す学習法
——新たなめあてに向かう——

めあてを持って表現する

子どもを育てる

都留進 (4)

「新たな自分を創る」所に「新たなめあてに向かう」姿が内在する

自ら学習のめあてを持てる子ども

小幡肇 (10)

理科室の学習の進め方

谷岡義高 (16)

❖ 子ども記 お楽しみ会 杉澤学 (22)

実践

平城京と奈良の歴史研究

——六年生の歴史学習より——

廣岡正昭 (24)

算数研究の進め方を考える

——「独自」「相互」「独自」の学習の進め方——

日和佐尚 (30)

わたしたちの家庭生活を高めよう

——五・六年の「けいこ」学習の実践——

堀本三和子 (36)

伝統音楽を身体で感じて表現しよう

——篠笛を吹こう——

山上眞佐枝 (42)

❖ あのととき… 忘れられない算数の授業

(会話)

畔柳英徳 (48)

❖ 子どもを育てる

育てる勘所

若手教員へ

聞き上手、話し上手子どもを育てる

(「けいこ」の基礎)

子どもが自ら進んで話を聞いたり、集合を行ったりするようになるには

梶田萬理子 (50)

西下旬也 (53)

《特別寄稿》

清水甚吾の算術教育

松本博史 (56)

《実践寄稿》

初めての説明文を楽しむ一年生

——「いろいろなまじし」(光村一年上「たたらういち作」)——

松居恵子 (62)

会員のひろば (68) あとがき (70) 表紙：都留進・カット絵：嶋守哲夫



《グラビア》

秋も元気な「奈良の子ども」たち

《序文》

事 故 諸岡英雄 (1)

主題

子どもの自己創造を促す学習法
—新しい自分を見つける—

新たな自分をつくる営み 梶田 萬理子 (4)

新しい自分に気づくとき 西條 友香 (10)

新しい自分の発見を通して、
自分を作り上げていく 畔柳 英徳 (16)

◆子ども記 「言いたいこと」の時間 阪本 一英 (22)

実践

しごと合宿の着眼と構想(三年・しごと) 杉澤 学 (24)

身体で音楽を感じよう 山上 眞佐枝 (30)

「自覚」の積み重ねによる自己発見 大野 木位行 (36)

本と友たちになろう「三年とうげ」(三年) 大野 智子 (42)

◆あのととき… 「教育実習」をふり返って 西下 旬也 (48)

◆子どもを
育てる勘所 (教師)
「批判的思考」の子どもから「受容的思考」
と「反省的思考」を育てる子どもに育てる教師
若手教員へ (食育)
食の学習「はしまりは生活から」 太田原 みどり (53)

《特別寄稿》

教科課程・「学習課程」・教育課程 富士原 紀絵 (56)

《実践寄稿》

世界遺産 十津川の学習 宮島 一彰 (62)

会員のひろば (68) あとがき (70) 表紙：都留進・カット絵：嶋守哲夫



《グラビア》

7月・9月の取り組みから

《序文》

五 訓 諸岡英雄 (1)

主題

子どもの自己創造を促す学習法
— 友だちのよさに学ぶ —

友だちの良さをどう見つけるか 梶田 萬理子 (4)

友達のよさから学ぶ音楽学習 山上 眞佐枝 (10)

子どもが友だちのよさから学ぶ学習法
— 「体操的生活」からの学び — 西下 旬也 (16)

子ども記 遠 泳
— 自分への挑戦 — 堀本 三和子 (22)

実践

子どもによる授業を通して「自分の世界」を拡充する子ども
「牽」と学習 — 新日鉄八幡製鉄所の子ども輸入会 — 小 幡 肇 (24)

理科室のお作法 谷岡 義高 (30)

日本の国の問題を考える 阪本 英 (36)

子どもの数量感覚を豊かにするための授業
— 1000までの数(2年)の実践から — 畔 柳 英徳 (42)

あ の とき . . . 「学習法」との出会い 大野 木 位 行 (48)

(造形技能)

子どもを 育てる 勘所 都 留 進 (50)

若手教員へ (本を好きになる) 大野 智子 (53)

読書好きな子を育てる

《特別寄稿》

フィンランド・英国に 岡本 正志 (56)

おける教育改革の動向

《実践寄稿》

総合的な学習の時間を核とした理科学習の大單元化の試み
— 稲作・水田ピオトーフを通して — 山中 哲夫 (62)

会員のひろば (68) あとがき (72) 表紙: 都留進・カッタ絵: 嶋守哲夫



《グラフィア》

学習研究集會

《序文》

報告 諸岡英雄 (1)

主題

子どもの自己創造を促す学習法
——自分のよさに気づく——

子どもが「自分のよさ」に 廣岡正昭 (4)

気づく学習法

自分のよさに気づく学習生活 堀本三和子 (10)

——自由研究——からの学び

自らのよさに気づき 大野智子 (16)

伸びる子ども

子ども記 「まほろば科学館」だより 谷岡義高 (22)

実践

算数研究を楽しもう 日和佐尚 (24)

——カレンダートリック(三年)——

「田んぼと米づくり」②(二年・しごと) 杉澤学 (30)

——学習の着眼と構想——

総合的に取り組む器械運動 阪本英 (36)

での子どもの育ち

子どもにとつての 水原睦 (42)

健康診断を考える

あのとぎき：もう一度 大学へ 西條友香 (48)

(音楽好きになる)

子どもを 育てる勘所 山上眞佐枝 (50)

音楽にも「適時」がある

(数感覚について)

豊かな数感覚を持つ大人になろう 畔柳英徳 (53)

《特別寄稿》

思考力を育てる 道田泰司 (56)

《実践寄稿》

文化財出前考古学教室を 松永佳子 (62)

活用した歴史学習

会員のひろば 68 あとがき 69 表紙：都留進・カット絵：嶋守哲夫



《グラフィア》
学習研究発表会

《序文》
自由 諸岡英雄 (1)

主題

確かな力を培う学習法

——「(仮)造形的・体育的領域」の学習力を育てるすじ道——

感性を育てる造形学習

——造形学習の自律的な学びのすじ道——

都留 進 (4)

子どもが生きる附属の体育の学習法

岩井 邦夫 (10)

子どもの生活発展をめざす体育学習2

——生活発展をめざす「学習力を育てるすじ道」——

阪本 一英 (16)

❖ 子ども記 子どもは変わったか? 廣岡正昭 (22)

実践

物語を読もう「大造じいさんとカン」(棕鳩十作)

梶田 萬理子 (24)

自分たちで進める「教科書算数」の学習の実践

——かくれた数はいくつ(3年)——

日和佐 尚 (30)

「田んぼと米づくり」①(二年・し)と

——学習前の子どもの事物認識——

杉澤 学 (36)

家族で食べる朝ごはん(五年生)

——食に関する学習——(けいこ(家庭科)より)

太田原 みどり (42)

❖ あのととき… Sの成長から 水原 睦 (48)

❖ 子どもを 育てる勘所 (話の聴き止め方) 小幡 肇 (50)

若手教員へ (なかよしづくり) 堀本 三和子 (53)

「はじめの一步」 一年生の学習づくり

《特別寄稿》
改めて、社会科の「知識」を問う 北 俊夫 (56)

《実践寄稿》

活動的・探究的な学習を展開する図形の授業を「サイ」する 佐藤 学 (62)

低学年における対称性 会員ひろば (68) あとがき (71) 表紙・カット絵: 嶋守哲夫



《グラフィア》
学習研究発表会

《序文》
か た ち 諸岡英雄 (1)

主題

確かな力を培う学習法
——「げいこ(社会的・家庭生活的領域)の学習力を育てるすじ道」——

社会科における学習力の伸ばし方
——問題解決的な学習で育つ確かな力—— 廣岡正昭 (4)

社会的領域の学習で育つ子どもと
その「すじ道」改訂の方向性 小幡 肇 (10)

家庭生活的な学習で
育てたい生活実践力 堀本 三和子 (16)

❖子ども記 お弁当のある環境 山上 眞佐枝 (22)

実践

名画に学ぼう
——表現と鑑賞をつなぐ造形学習—— 都留 進 (24)

一年生における「暗算の可能性と限界」の考察
——お金をかたもんだいをどう一年の実践から—— 日和佐 尚 (30)

三年太陽の学習から省エネ学習へ 谷岡義高 (36)

言葉に着目して読み深める(二年) 大野智子 (42)

❖あるとき… 自然との対話 杉澤 学 (48)

❖子どもを
育てる勤所 (三人組の学習) 岩井邦夫 (50)

若手教員へ (イメージのある学び) 太田 誠 (53)

学びの見直しを子ども自身にもたせる

《特別寄稿》
学校現場と大学の協働による 授業実践と教師教育 藤田 武志 (56)

《実践寄稿》
主体的な相互学習をめざして 加島寿子 (62)

会員のひろば (68) あとがき (70) 表紙・カット絵：嶋守哲夫



《グラビア》

力を出しきる

《序文》

六 邪 諸岡英雄 (1)

主題

確かな力を培う学習法
—「げい(言語的・数理的領域)の学習力を育てる道」—

考えを深める子どもに 梶田 萬理子 (4)

子どもが自ら算数学習を 日和佐 尚 (10)

つくるための指導

子どもの学びのすじ道を楽しむ
—A子の算数日記より— 太田 誠 (16)

◆子ども記 「学習への重い？」
辞書・事典・参考書 谷岡義高 (22)

実践

ひみつのはこをつくろう 都留 進 (24)

—小さな箱の空間構成—

「じい」と「学習の創り方」【資料編】 小幡 肇 (30)

—「子どもの発表」を軸にした学習計画作成手順(教師力)—

子どもと創る総合的な表現運動 阪本 英 (36)

音楽を身体で感じよう 山上 眞佐枝 (42)

◆あのあるとき… あの経験がなければ 大野 智子 (48)

(力を出せる場)

◆子どもを 育てる勘所 廣岡 正昭 (50)

子どもが力を発揮できる場をつくる

若手教員へ (言葉と学習) 杉澤 学 (53)

美しい言葉話す子ども

《特別寄稿》 子どもを育てるといふこと 岡野 昇 (56)

《実践寄稿》 真の「計算力」を育てる算数の授業 杉能 道明 (62)

《実践寄稿》

真の「計算力」を育てる算数の授業 杉能 道明 (62)

会員のひろば (68) あとがき (72) 表紙・カット絵：嶋守哲夫



《グラフィア》

かがくのひろば

《序文》

六 正 諸岡英雄 (1)

主題

確かな力を培う学習法

—「けいこ科学的領域」の学習力を育てるすじ道—

理科の学習力を育てる道筋

—神戸伊三郎著「理科学習原論」に学ぶ—

中谷内政之 (4)

理科における表現力と読解力

谷岡義高 (10)

低学年で育てたい科学的な

問題解決の素地

杉澤学 (16)

子ども記

東吉野村での林業体験
(学習作文より)

小幡 肇 (22)

実践

六月流豆忍者修業ファイナル(六年)

—わたしの進む道—

岩井邦夫 (24)

麺の旅〜そば・パスタ・ラーメン編〜(三年)

—しごと「食べ物たんけん」の実践(V)—

堀本 三和子 (30)

子どもの幅を認め合う学習

太田 誠 (36)

校種間連携活動「はてな?の広場」の実践

—小中等連携WG「かがくのひろば」の取り組み—

日和佐 尚 (42)

◆あのととき…

「人間は『ある?』『いる?』」

(日記指導)

山上 眞佐枝 (48)

◆子どもを

育てる勤所

若手教員へ

学習の基盤をつくる日記指導
(学級なかよし)

梶田 萬理子 (50)

笑いの文化といじめ

阪本 英 (53)

《特別寄稿》

理科で育つ・理科で育む

鈴木盛久 (56)

《実践寄稿》

美術館を活用した

鑑賞学習の指導法の研究

大塚 和子 (62)

会員のひろば (68)

あとがき (71)

表紙・カット絵：嶋守哲夫



《グラビア》

6月9日 学習研究集会

《序文》

ね ば り 強 さ 諸岡英雄 (1)

主題

確かな力を培う学習法

——「なかよし」の学習力を育てるすじ道——

「なかよし」学習のあり方を考える 中谷内政之 (4)

子どもたちの「なかよし」を育む力 梶田 萬理子 (10)

「なかよし」を育てる6つの活動場面 太田 誠 (16)

◆子ども記 私の研究聞いてほしい 大野智子 (22)

実践

食 の 研 究

——五年生「しごと」学習の実践——

廣岡正昭 (24)

「おはなし&おたずね学習」の

創生と定着(一年・なかよし)

杉澤 学 (30)

子どもと創る総合的な学習の道筋

——五年生・年間のしごと学習を振り返って——

阪本 英 (36)

育ちゆく体とわたしたち

——保健学習(五年生の実践)——

水原 睦 (42)

◆あのととき… 羊のいた、あ頃 堀本三和子 (48)

(校外学習)

◆子どもを

育てる勘所

追究の目を育てる校外学習

都留 進 (50)

(若手教員へ)

(自律した学び)

「おたずね」と「めあて」

谷岡義高 (53)

《特別寄稿》

授業イメージを高めるといふこと 伏木久始 (56)

《実践寄稿》

算数に親しむ「環境創り」 神山繁樹 (62)

会員のひろば (68) あとがき (70) 表紙・カット絵：嶋守哲夫



《グラビア》

6月9日 学習研究集会

《序文》

変革の時代に 諸岡英雄 (1)

主題

確かな力を培う学習法
—「学習の基盤」をつくるすじ道—

朝の発表、六年間の足跡 岩井邦夫 (4)

学習の基盤を創る 都留 進 (10)

学習力の基盤を考える 廣岡正昭 (16)

子ども記 字と自律 梶田 萬理子 (22)

実践

これはおもしろい！と思った学習 小幡 肇 (24)

「しごと」で育つ自律的学習力 谷岡 義高 (30)

麺の旅(そうめん・うどん編)(三年) 堀本 三和子 (36)

学習の基盤とともに育つ 算数的学習法 太田 誠 (42)

あのととき… 教えない体育との出会い 阪本 一英 (48)

子どもを 育てる勤所 (学習法) 自己学習力の体得を志向して 中谷内 政之 (50)

若手教員へ (学校行事) 学校行事で学習力を育てる 日和佐 尚 (53)

《特別寄稿》

算数的活動としての「空操作」 小西 豊文 (56)

《実践寄稿》

子ども自作のルーブリックで 目標達成力を身につける 元木 幸三 (62)

会員のひろば (68) あとがき (70) 表紙・カット絵：嶋守哲夫



《グラビア》

1年学級開き
4年 篠川観察・奈良市平城浄化センター見学

《序文》

行事での校長挨拶 野口哲子 (1)

主題

確かな力を培う学習法

— 体育で育つ子どもの学ぶ力 —

学習力を育てるすじ道を考える

— 新年度の研究に期するもの —

廣岡正昭 (4)

体育で育つ子どもの学ぶ力を考える

岩井邦夫 (10)

子どもの生活発展をめざす体育学習

— 体育的領域における学習力を育てるすじ道を考える —

阪本英 (16)

❖ 子ども記 驚きの一年間 水原 睦 (22)

実践

凹の造形「あなの造形」

— 凹から凸への子どもの楽しい発想転換 —

都留 進 (21)

説明文で学び合う

— 「雪国は今」 — (四年) —

梶田 萬理子 (30)

発光ダイオード(LED)の教材化について

— 三年、四年での実践から —

谷岡 義高 (36)

「いちご・みかん探検に出かけよう」(三年)

— しごと「食べ物たんけん」の実践(III) —

堀本 三和子 (42)

子どもが主体的に取り組むエネルギー学習

— 風速の研究から風力発電の研究 総編(9年)の事例 —

杉澤 学 (48)

❖ あのととき… 1962年に生まれて 金津 琢哉 (54)

《特別寄稿》

学習法 体育 雑感 小林 篤 (56)

《実践寄稿》

主体的に学ぶ子どもの姿を求めて 天野 孝志 (62)

— 「めあて」と「ふりかえり」のある授業の実践を通して —

会員のひろば (68) あとがき (71) 表紙・カット絵：嶋守哲夫



《グラビア》
卒業式・しごとの学習を劇で発表しよう

《序文》
始業式に代わる全校集会 野口哲子 (1)

主題

確かな力を培う学習法
— 美しさを感じ表現する力 —

学習法における「学習の基礎」 中谷内政之 (4)

— 木下竹次「学習原論」から —

生活力は学習力、学習力は生活力 岩井邦夫 (10)

美しさを感じる心を育てる 都留進 (16)

❖子ども記 委員会役員の子ども達 阪本一英 (22)

実践

わたしたちの奈良ものがたりⅡ 廣岡正昭 (24)

— 四年生「しごと」の実践・思いつき、筆づくりに挑戦 —

奈良の学習法「やればできる」公立小学校バージョン 小幡肇 (30)

— 坂ユカリ先生(名古屋市)、奮闘する —

「手づくりあそび」の研究(一年) 日和佐尚 (36)

子どもが主体的に取り組むエネルギー学習 杉澤学 (42)

— 「歴史の研究」を「風力発電の研究」後編②(五年・理科) —

楽しく伝える「かぜの予防」 水原睦 (48)

— 保健グループの活動 —

❖あのとぎ… 私 の 師 匠 谷岡義高 (54)

《特別寄稿》

図画工作科指導の原点 藤澤英昭 (56)

《実践寄稿》

自分のまわりの人の大切さを感じる子どもを育てて 廣瀬智彦 (62)

— 二年生、生活科の実践から —

会員のひろば (68) あとがき (71) 表紙・カット絵：嶋守哲夫



《グラビア》

歩走練習・よく見て描こう!

《序文》

青空の下での歩走練習納会 野口 哲子 (1)

主題

確かな力を培う学習法

—身近な生活や社会的事象をとらえる力—

子どもの社会認識の発展 廣岡 正昭 (4)

「しごけい」な「なかよし」における「各種能力の

指導系統表(すじ道)の改訂・作成にあたっての考え

—「子どもを取り巻く生活や社会」に関する領域—

小幡 肇 (10)

生活を見つめ、自らの生活を拓く力を育てる

—家庭生活領域の指導のすじ道を考えて—

堀本 三和子 (16)

❖子ども記心の絆 杉澤 学 (22)

実践

六月流豆忍者修業(六年) 岩井 邦夫 (24)

—二十三年目の忍者体育—

説明文に親しむ 梶田 萬理子 (30)

—「かむこと」の力「アップとルーズで伝える」(四年)—

街角の算数 日和佐 尚 (36)

—「ランドルト環」の研究(六年生の実践)—

学びの自己組織化に関する研究 金津 琢哉 (42)

—生活力キッズにおける各種能力の指導系統表づくりを中心に—

表とグラフでデータを整理する 谷岡 義高 (48)

—科学的に自然を探究する理科学習を目指して—

❖あのととき… 私の中の原風景 中谷内 政之 (54)

《特別寄稿》

「コミュニティ中心」のデューイ実験学校 中野 真志 (56)

—子どもの社会的な興味とオキユベーション—

《実践寄稿》

子どもたち一人一人がともに 南 尚美 (62)

—「生活科」年生「町たんけん」の実践を通して—

会員のひろば (68) あとがき (71) 表紙・カット絵: 嶋守哲夫



奈良女子大学附属小学校学習研究会・編集



2006. 2 第419号

《グラフィア》
なかよし音楽会・校外学習

《序文》
日記 野口哲子 (1)

主題

確かな力を培う学習法
— 理科学習で身につけたい基礎的な力 —

理科の歴史的考察と展望
— 先達・神戸伊三郎に学ぶ — 中谷内政之 (4)

けいこ理科の学び方を考える
— 学習法による理科学習の可能性 — 谷岡義高 (10)

低学年の子どもに育てたい科学的な生活力
— 天然物・人工物の持ち込みによる学び合いを中心として — 杉澤学 (16)

子ども記 どくまでも割り切れない
— 不透明で不確実な教育という仕事 — 金津琢哉 (22)

実践

凹の造形「牛乳びんのへんしん」
— 凹から凸への子どもらしい発想転換 — 都留進 (24)

街角の算数
— 子どもによる教材開発研究(六年生の実践から) — 日和佐尚 (30)

三年月組の子どもの学習活動
【平成17年度】 小幡肇 (36)

三年生の合宿活動をつくる
— 曾爾高原合宿 — 堀本三和子 (42)

自分自身で掴む確かな力 太田誠 (48)

◆あのととき: 「生活科」そして「総合的な学習」の誕生 廣岡正昭 (54)

《特別寄稿》
これからの理科学習で
つけたい基礎的な力 角屋重樹 (56)

《実践寄稿》
子どもと共に理科の学習を創る 榎岡壽江 (62)

会員のひろば (68) あとがき (71) 表紙・カット絵: 嶋守哲夫



《グラビア》

プール水泳納会・低学年なかよし集会

《序文》

プール水泳納めの会 野口哲子 (1)

主題

確かな力を培う学習法
— 数理の学習を自律的に学ぶ力 —

新「各種能力の指導系統表」作成に当たって

— 改訂への共通理解に向けて —

都留 進 (4)

数理の学習を自律的に学ぶ力

— 第一学年の指導のあり方 —

日和佐 尚 (10)

教師が自律する自律的学習法

太田 誠 (16)

❖ 子ども記 憧れの大運動場 堀本 三和子 (22)

実践

わたしたちの奈良ものがたり(I)

— 四年生「しごと」の実践より —

廣岡 正昭 (24)

感じ合い、響き合う子どもたちに

— 「白いほうし」(四年) —

梶田 萬理子 (30)

子ども達が自分の道筋で学ぶ体育学習

— 希望の運動ランド(五年)の実践より —

阪本 一英 (36)

子どもが主体的に取り組みエネルギー学習

— 「風と翼の研究」から「風発電の研究」(後編)「五年の」理科 —

杉澤 学 (42)

テキスト化を通した「語り」による新しい授業研究

— 幼稚園と小学校との臨床教育学的授業研究の報告 —

金津 琢哉 (48)

❖ あのととき： 20代の情と熱 小幡 肇 (54)

《特別寄稿》

数理を語り合う算数学習

— 確かな力を培う学習法の探究 —

宇佐見 香代 (56)

《実践寄稿》

個性的追究を育む授業を求めて

— 「川とノリオ」(六年)の実践 —

荒 雅樹 (62)

会員のひろば (68) あとがき (71) 表紙・カット絵：嶋守哲夫



《グラビア》

プール水泳・臨海合宿

《序文》

白浜での臨海合宿 野口哲子 (1)

主題

確かな力を培う学習法
— 読みを高める力 —

各種能力の指導系統表

— これまでの経緯と改訂のための方向性 —

中谷内政之 (4)

自力で読む子どもに

梶田萬理子 (10)

言葉の主體的吟味に誘う日常の指導

— 各種能力指導系統見直しへの一提案 —

金津琢哉 (16)

❖ 子ども記

現代子ども気質
— うちの学級の子らは —

都留進 (22)

実践

五月流豆忍者修業の子どもの学び(五年)

— 二十二年目の忍者体育 —

岩井邦夫 (24)

低学年なかよし集会の世話と

三年月組の子どもの学び

小幡肇 (30)

「米のへんしん」(二年)

— 「し」と「食べものたんけん」の実践(Ⅱ) —

堀本三和子 (36)

子どもと創る総合的な学習の道筋

阪本一英 (42)

子どもたちとともに

培ってきた授業の文化

太田誠 (48)

❖ あのとき…

「子どもが進める
算数学習」の裏話

日和佐尚 (54)

《特別寄稿》

国語科における「語合・聴合」という学習活動の意義

— 青森市浪館小学校・佐藤康子教諭の実践を手掛かりとして —

大内善一 (56)

《実践寄稿》

音楽の力を学校づくり

— みんなで歌うって楽しいノ！ —

松本寛子 (62)

会員のひろば (68) あとがき (71) 表紙・カット絵：嶋守哲夫



奈良女子大学附属小学校学習研究会・編集



2005. 8 第416号

《グラビア》
2年と5才児の交流

《序文》
桜が満開の始業式 野口哲子 (1)

主題

学習力を育てる
— 自らかかわる力 —

子どもの主体性の育成と学習法の実践
— 私たちの、この一年間の総括 — 中谷内政之 (4)

「自らかかわる力」の育成 日和佐尚 (10)

学年だより「まほろば」
— 我が校の「学習法」を親に伝えた六年間の記録 — 谷岡義高 (16)

子ども記 スキー合宿で育った力 阪本一英 (22)

実践

しごと学習のしめくくり
— 六年生「奈良の道を考える」の実践 — 廣岡正昭 (21)

「たぬきの糸車」を読もう(一年) 梶田萬理子 (30)

美しさみつけ 嶋守哲夫 (36)

歴史学習を取り扱う
「けいこ」学習への挑戦 小幡肇 (42)

子どもが主体的に取り組むエネルギー学習
— 風と翼の研究から、風力発電の研究 前編(五年)の項目 — 杉澤学 (48)

— 風と翼の研究から、風力発電の研究 後編(六年)の項目 —

◆ まほろば まほろば最終章
— 大和は国のまほろば私感 — 都留進 (54)

《特別寄稿》
図画工作科の教科性と方法の再検討
— 「ゆとり教育」の見直しを機に — 草尾和之 (56)

《実践寄稿》
追究する子どもが育つ歴史学習を目指して
— 6年社会科「一枚の絵から歴史をみる」の実践より — 遠藤拓海 (62)

会員のひろば (68) あとがき (71) 表紙・カット絵：嶋守哲夫



《グラビア》

卒業式・スキー合宿

《序文》

附 小の卒業式 野口哲子 (1)

主題

学習力を育てる
— 学びを見通す力・振り返る力 —

学びの連続性を考える 岩井邦夫 (4)

けいこ学習を見通す力 杉澤 学 (10)

心をつなげるレイテントカリキュラム 太田 誠 (16)

❖ 子ども記 子らが残して行った宝 中谷内政之 (22)

実践

かにをえがこう 都留 進 (21)

自分たちで進める「教科書算数」 日和佐 尚 (30)

「トマト物語」(二年) 堀本 三和子 (36)

みつけるくらし(一年) 金津 琢哉 (42)

『おんがくのおみせ』 総括編 野崎 宣器 (48)

❖ まほろば 全二年度総合的学習の意義を見直す
— 学力低下論議をめぐって — 廣岡 正昭 (54)

《特別寄稿》

センス・オブ・ワンダーから 村上 忠幸 (56)

静かにはじまる探究学習

話の種を持っているよ! 小池 正彦 (62)

《実践寄稿》

— 虫大好き 立場川 好き —

会員のひろば (68) あとがき (71) 表紙・カット絵: 嶋守哲夫



《グラビア》

風物

《序文》

附小のなかよし音楽会 野口哲子 (1)

主題

学習力を育てる
— 学び合う力 —

自律的学習を促す「学び合い」 廣岡正昭 (4)

造形学習における学び合い 嶋守哲夫 (10)

総合的な学習で育つ「学び合う力」 阪本一英 (16)

子ども記 情緒力を育む
「みつけるくらし」 金津琢哉 (22)

実践

「大きなかぶ」(一年) 梶田 萬理子 (24)

— 一人ひとりの言葉が具体的になるよう —

「子どもは子どもによって育つ」現場 小幡 肇 (30)

— 「子どもの本来、持っている力とあなたを同時に育てる」
(平成16年度「年月組の子ども」)

「さんぽ」で育った子ども達 谷岡義高 (36)

— 六年間のしごと学習には、まずさんぽがあった —

個性を生かし合う授業 太田 誠 (42)

《共同研究》

幼稚園の保健室ってどんなところ? 福西まゆみ (48)

❖ まほろば 来し方、26年 岩井邦夫 (54)

《特別寄稿》

〈聴く〉という〈強さ〉を 岩崎紀子 (56)

育む授業空間

《実践寄稿》

子どもがつくる算数科学習 松笠勝也 (62)

— コミュニケーションのなかから豊かな学びを —

会員のひろば (68) あとがき (71) 表紙・カット絵：嶋守哲夫



《グラビア》
わくわくする体験(一年生)

《序文》

秋晴れの運動会 野口哲子 (1)

主題 学習力を育てる
——個が高まり合う集団づくり——

学習力を育む対話する力 都留 進 (4)

個と集団の学習力を育てる 岩井邦夫 (10)

集団形成についてのベースコンセプト 野崎宣器 (16)

❖子ども記 さつまいもと絵本作り 小幡 肇 (22)



奈良女子大学附属小学校学習研究会・編集

実践

基礎基本を自ら習得する「教科書算数」 日和佐 尚 (24)
——割合を使って問題を解こう(五年)そのⅡ——

地球温暖化を考えるⅢ(高学年・けいこ理科) 杉澤 学 (30)
——二酸化炭素の発生と性質——

その子らしさが息づく 評価のあり方 金津琢哉 (36)

一年生の子どもの体育生活を育てる 阪本 英 (12)
——一年生、一年間の取り組みから——

保健室の余白 矢田留美子 (48)

❖まほろば おばさん女子大生 堀本三和子 (54)
夏のキャンパスに行く

《特別寄稿》
評価の観点を正しく理解し、
確かな学力を育てる 野田敦敬 (56)

《実践寄稿》
内容の深化・拡充をめざす理科の授業づくり 中田晋介 (62)
——もののあたたまり方の学習から——

会員のひろば (68) あとがき (71) 表紙・カット絵：嶋守哲夫



2004.12 第412号

《グラビア》
 体育的な生活・理科学的な生活

《序文》

夏休み最後の日曜日 野口哲子 (1)

主題

学習力を育てる
 — 伝え合う力・聞き合う力 —

学習力を育む聴く力 都留 進 (4)

「伝え合う力・聞き合う力」が育つには 小幡 肇 (10)

心を伝え合う・思いを聞き合う 堀本 三和子 (16)

❖ 子ども記 「びみよう」な子どもたち 矢田 留美子 (22)

実践

くらししと道 (V) 廣岡 正昭 (24)
 — 五年生エネルギーの道を考える「しと」学習その2 —

メタリック造形に取り組もう(六年) 嶋守 哲夫 (30)

「東京しごと合宿」紀行 谷岡 義高 (36)
 — 奈良の子どもの学習場の可能性 —

学習力を育てる算数的学習法 太田 誠 (42)

《共同研究》
 幼稚園における保育と評価 辻岡 美希 (48)
 松田 登紀

❖ まほろば 音楽室への訪問者 植村 則子 (54)
 — 子どもの休み時間 —

《特別寄稿》
 多文化教育学校をつくる 森茂 岳雄 (56)
 — 文化的多様性を尊重する学校づくり —

《実践寄稿》
 くらしとつながる表現活動 野垣内 宗 (62)
 — 地域の特徴を生かした総合的な学習の時間の実践 —

会員のひろば (68) あとがき (71) 表紙・カット絵：嶋守哲夫



《グラビア》
プール水泳・音楽大好き

《序文》

附小の入学式 野口哲子 (1)

主題

学習力を育てる
— 話す力・聞く力 —

学習力を育てる学校 中谷内政之 (4)

話す意欲・聞く意欲が高まる環境 梶田 萬理子 (10)

しぶとく結び合っていく子ども 金津 琢哉 (16)

子ども記 育ってきた子ども達に
支えられて 谷岡 義高 (22)

実践

忍者の体育学習で育つ
子どもに学ぶ(四年) 岩井 邦夫 (24)

基礎基本を自ら習得する「教科書算数」
— 割合を使って問題を解こう(五年)(その一) — 日和佐 尚 (30)

幼小の交流活動
「なかよしになろう会」(Ⅱ) 堀本 三和子 (36)

幼小をつなぐ学びを考える
— 五歳児・一年生の合同学習の取り組みから — 阪本 一英 (42)

「聞く」・「聴く」から『訊く』・『利く』へ 野崎 宣器 (48)

まほろば 奈良の自然に魅了されて 太田 誠 (54)

《特別寄稿》
なぞることをまねること 天ヶ瀬 正博 (56)

《実践寄稿》

子どもの自主性・主体性を伸ばす「総合的な学習」
— 公立小学校での《なかよし集会》の実践 — 平木 充代 (62)

会員のひろば (68) あとがき (70) 表紙・カット絵：嶋守哲夫



《グラビア》

入学式・遠足

《序文》

日本語の視点、英語の視点(6) 内田聖二 (1)
—「十代」と「teens」—

主題 学習力の探究
— 学習力を育てる学校 —

奈良の学習法から 岩井邦夫 (4)
学校教育を考える

「仏教の学習」の探究(しごと) 谷岡義高 (10)
— 奈良の子どもの可能性 —

学習力を支える「おたずね」の力 堀本三和子 (16)

❖子ども記 「五たび」の四年生担任 廣岡正昭 (22)

実践

「へんしんごっこであそぼう」 都留進 (24)
— 構想と材料とお話の造形学習 —

話しことばを育てる学習(低学年) 梶田萬理子 (30)

子ども科学研究発表会 杉澤学 (36)
— 科学心を啓培する取り組み —

一年生の子どもの学習生活を育てる2 阪本一英 (42)
— 学習の実際場面を通して考える —

附小広さくらべベスト10 太田誠 (48)

❖まほろば 夢の続き…… 嶋守哲夫 (54)

《特別寄稿》

清水甚吾の「奈良の学習法」 宇佐見香代 (56)

《実践寄稿》

自ら学ぶ意欲を持って取り組める学習の場と手だて 安久弘光 (62)
— 体育科四年「マット運動」の実践 — 奥出浩司

会員のひろば (68) あとがき (71) 表紙・カット絵：嶋守哲夫



《グラビア》

卒業式・スキー合宿

《序文》

日本語の視点、英語の視点(5)

—「牛肉」と「beer」—

内田聖二 (1)

主題 学習力の探究
— 独自学習の発展 —

独自学習を発展させる学習力

都留進 (4)

自律的学習法における

第二次独自学習

日和佐尚 (10)

独自学習の深化

— 理科的分野を中心として —

杉澤学 (16)

❖ 子ども記 スキー合宿奮闘記 太田誠 (22)

実践

くらしと道 (IV)

— 五年生・エネルギーの道を考える「しごと」学習 —

廣岡正昭 (24)

自由研究発表による学習の積み重ね

— 二年生組・三年生組での実践(平成14・15年度) —

小幡肇 (30)

幼小の交流活動

「なかよしになろう会」(I)

堀本三和子 (36)

文語との出会いを

どうすればよいか

金津琢哉 (42)

『おんがくのおみせ』

— 見えてきたものは… — (一年生組の実践)

野崎宣器 (48)

❖ まほろば 「わたる会」

中谷内政之 (54)

《特別寄稿》

パフォーマンス課題とルーブリック

— 「目標に準拠した評価」を充実させるために —

西岡加名恵 (56)

《実践寄稿》

高学年における鑑賞指導のあり方

— 六年「山田耕筰の歌曲の実践例から」 —

山野昭正 (62)

会員のひろば (68) あとがき (71) 表紙・カット絵：嶋守哲夫



《グラビア》

音楽会・歩走練習

《序文》

日本語の視点、英語の視点(4)

—「唇」と「lips」—

内田聖二(1)

主題

学習力の探究

—コミュニケーション能力の育成—

コミュニケーション能力の育成と学校

—負のツケを引き受ける教育現場の苦悩—

中谷内政之(4)

対話能力を高め、

学び合う教室をつくる

梶田萬理子(10)

「話す」ことを通して育つもの

小幡肇(16)

❖子ども記 笑

い

野崎宣器(22)

実践

「見つけよう、私の町の美しさ」

—美的感受性を高める造形学習(4年)—

嶋守哲夫(24)

街角の算数

—「そろばん」の研究(4年)—

日和佐尚(30)

五年物の溶け方(けいこ理科)

—実験の方法と実験結果の検討について—

谷岡義高(36)

結核健康診断の改正に伴う対応と課題

—幼稚園における年長児のグループ活動の意義—

矢田留美子(42)

「友達と一緒に活動する楽しさ」

—幼稚園における年長児のグループ活動の意義—

森本伊津子(48)

❖まほろば 私小説

—教育実習生に贈る失敗談—

金津琢哉(54)

《特別寄稿》

総合学習における

「国際理解教育」に求めるもの

北谷成人(56)

《実践寄稿》

学習経験や生活経験に着目した教師支援

—1年生「秋野菜の栽培活動」を通して—

久永克彦(62)

会員のひろば(68)

あとがき(71)

表紙・カット絵：嶋守哲夫



《グラビア》
秋の大運動会

《序文》

日本語の視点、英語の視点(3) 内田聖二 (1)
—「夕方」と「evening」—

主題

学習力の探究
— 個の学習問題の設定 —

子どもの表現力と追究力と学習問題作り 都留 進 (4)
— 子どもの五感を通して —

個の学習問題は「私」への 金津琢哉 (10)
— こだわりから生まれる

学習が生まれ、 野崎宣器 (16)
育つ過程に関する一考察

子ども記 学習環境を整える 杉澤 学 (22)

実践

四月月組全員逆上がり達成物語 岩井邦夫 (24)

世界の民話、集まれ 梶田萬理子 (30)
— 「三年とうげ」を読む(三年) —

学びの第一歩を 堀本三和子 (36)
ふみ出した子どもたち

一年生の子どもの 阪本一英 (42)
学習生活を育てる

カレンダーのひみつ 太田 誠 (48)
— 同一課題に、異集団でアプローチした実践 —

まほろば フォトランゲージ 小幡 肇 (54)
(写真の読み解き)

《特別寄稿》

個の自由な視点からの学びあいに向かって 杉山造之 (56)
— 総合学習・文学(国語)教育 —

《実践寄稿》

はじめの一步は『がっこうだいすき』 近藤 暁子 (62)
— 生活科一年「学校探検」の実践 —

会員のひろば (68) あとがき (71) 表紙・カット絵：嶋守哲夫



《グラビア》

臨海合宿・グループなかよし

《序文》

日本語の視点、英語の視点(2)

—「おみやげ」と'souvenir'—

内田聖二 (1)

主題

学習力の探究
—自由研究の価値—

一人ひとりの子どもの

学びが光り輝く朝

岩井邦夫 (4)

個人プロジェクト学習の成果

嶋守哲夫 (10)

自由研究のねうち

阪本一英 (16)

❖子ども記 教室で静かに生きている子 梶田 萬理子 (22)

実践

卒業制作「油絵を描く」

—油絵の魅力に迫る—

都留 進 (24)

くらしと道(Ⅲ)

—五年生・食べ物道をたどる「しごと」学習—

廣岡正昭 (30)

わたしの算数研究・街角の算数

—個人の学習力を高めよう—

日和佐 尚 (36)

奈良研究から京都大阪研究へ

—しごと学習の低学年から高学年への広がり—

谷岡義高 (42)

《共同研究》

「二人一人の子どもの見つめる中で」

—幼・小の連携における幼稚園教師の願い—

飯島貴子 (18)

❖まほろば 遍路ミニミニ体験 矢田 留美子 (54)

《特別寄稿》

「心豊かな世紀」を招来するための教育に

—「子どもを教える学習から」「子どもと共に学ぶ学習」へ—

森 一夫 (56)

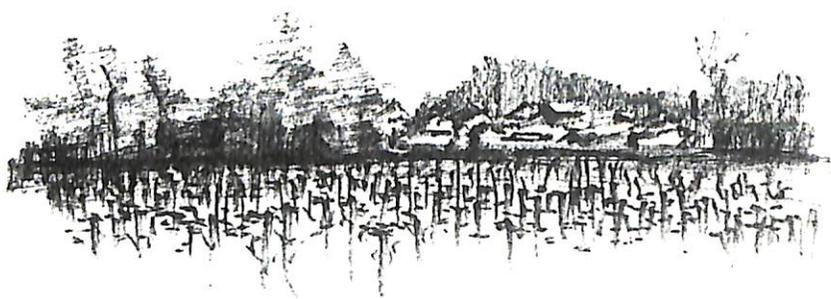
《実践寄稿》

私の考える授業づくり

—研究授業「見て見たからもの」から—

大泉義一 (62)

会員のひろば (68) あとがき (71) 表紙・カット絵：嶋守哲夫



《セラビア》
低高学年集会・なかよし委員会

《序文》

日本語の視点、英語の視点(1) 内田聖二 (1)
—「頭」と「head」—

主題 学習力の探究
—総合と教科の響き合い—

学習法で育つ「学習力」 中谷内政之 (4)
—三位一体論—

学びの基盤と諸相 廣岡正昭 (10)
—総合的な学習と教科学習の関係について—

「じごと」の精神を「けいこ」に生かす 太田誠 (16)

❖子ども記 なぜそうじをするの? 植村則子 (22)

実践

子どもが生きる忍者の体育学習 (三年—その三) 岩井邦夫 (24)

『独自学習』をもとにした「相互学習」を創るまでの舞台裏
—「年」を学習「気候要素」のはばを学ぶ(平成15年度まで)— 小幡肇 (30)

パッケージの総合的な研究
—造形性と機能性を学ぶ学習(4年)— 嶋守哲夫 (36)

地球温暖化を考えるII(高学年・けいこ理科)
—電気の研究III「MY発電装置で電気をつくろう」— 杉澤学 (42)

なかよし委員会を担当して 金津琢哉 (48)

❖まほろば F1 に学ぶ 日和佐尚 (54)

《特別寄稿》

音楽が自然に生まれる 「場」を再考する 根津知佳子 (56)

《実践寄稿》

ぼくらのバリアフリー 辻井理 (62)
—四年 総合学習の取り組みから—

会員のひろば (68) あとがき (71) 表紙・カット絵：嶋守哲夫



《グラビア》

六年の学習

《序文》

押す文化、引く文化 内田聖二 (1)

主題

総合的な学びを育てる学習法
子どもに育つ確かな力⑥
— 生きる力 —

学習法で育つ生きる力とは 都留 進 (4)

『生きる力』を身に 小幡 肇 (10)

つけようとしている場面

「生きる力」を考える 阪本一英 (16)

❖子ども記 六年生の自覚 廣岡正昭 (22)

実践

「スーホの白い馬」を読もう(二年) 梶田 萬理子 (24)

続・石の心 嶋守 哲夫 (30)

四年熱の学習 谷岡 義高 (36)

「けいこ算数」における問題解決学習 太田 誠 (42)

『おんがくのおみせ』 野崎 宣器 (48)

❖まほろば 夢をつなぐ少年 杉澤 学 (54)

《特別寄稿》

幼稚園から小学校へ引き継いでほしいこと 麻生 武 (56)

— 未来をいま・ここに生きる喜び —

《実践寄稿》

アイマスク体験を 藤井 優恵 (62)

おうちの方に伝えよう

会員のひろば (68) あとがき (71) 表紙・カット絵：嶋守哲夫



《グラビア》
五年の学習

《序文》

「すみません」と「ありがとう」 内田聖二 (1)

主題

総合的な学びを育てる学習法

子どもに育つ確かな力⑤

— 学び合う力 —

子どもの学びと授業 中谷内政之 (4)

学び合う力が育つ学習指導 日和佐尚 (10)

「学びあう力」の根底にあるもの 野崎宣器 (16)

◆子ども記 笑いのセンス 堀本三和子 (22)

実践

子どもが生きる忍者の体育学習 (三年—その二) 岩井邦夫 (24)

くらしと道 (II) 廣岡正昭 (30)

地球温暖化を考える(高学年・けいこ理科) 杉澤学 (36)

説明文の読み方を考える(2) 金津琢哉 (42)

学習の場としての保健室の整備 矢田留美子 (48)

◆まほろば 学校体育異種 阪本一英 (54)

格闘技戦観戦記

《特別寄稿》
幼少年期の子どもの体育を考える 村岡眞澄 (56)

— 動く意欲を育てる視点から —

《実践寄稿》

つくりだす喜びを味わえるような題材の展開 西清美 (62)

— 六年図画工作科「光とかけのワンダーランド」の実践より —

会員のひろば (68) あとがき (71) 表紙・カット絵：嶋守哲夫



《グラビア》
四年の学習

《序文》

「どちらまで？」と「はん食べましたか？」 内田聖二 (1)

主題

総合的な学びを育てる学習法

子どもに育つ確かな力④

— 表現する力 —

総合的な学習に

演劇表現の教育を

岩井邦夫 (4)

関わり合って表現する

力を伸ばす教室を

梶田 萬理子 (10)

個人プロジェクト学習と

表現する力

嶋守哲夫 (16)

❖ 子ども記 子どもからのE・メール 中谷内政之 (22)

実践

美術館へ行こう

— 鑑賞と表現の総合化 —

都留 進 (24)

算数研究の実際(三年)

— 「タイムのしきつめ」の発表授業 —

日和佐 尚 (30)

『さらなる独自学習』をどう根づかせるか

— まずは調べ直し活動から始める —

小幡 肇 (36)

説明文の読み方を考える

— 「一秒が一年をこわす」(光村五年下) —

金津 琢哉 (42)

六年星組歴史研究

— 「飛鳥・奈良各地の歴史研究」の実践より —

阪本 一英 (48)

❖ まほろば 熱く燃えた夏

— 幸せは自分の心が決める —

太田 誠 (54)

《実践寄稿》

綿を育てて保健室のふとんをつくらう

— ふとんプロジェクトの発足について —

石戸 秀利 (56)

《特別寄稿》

子どもにとっての「総合」とは

三石初雄 (62)

会員のひろば (68) あとがき (71) 表紙・カット絵：嶋守哲夫

